

日本放射線安全管理学会第14回学術大会
公開シンポジウム

12月2日（水）から4日（金）にかけて筑波大学 大学会館で日本放射線安全管理学会の学術大会を行います。当学会は6月シンポジウムと学術大会の年2回会員が集まり研究発表と情報交流を行ってまいりました。2011年の福島原発事故以降は、放射線安全管理の立場から様々な問題を取り扱ってきました。昨年の第13回学術大会では「福島復興に向けた取り組み」で福島県内での現場の取り組みを報告してもらいました。本大会では初日（2日午後）に公開シンポジウムとして総合課題「福島原発事故後の放射性物質汚染による現状と問題点」を開催します。シンポジウムの内容としては、講演30分、質疑5分で4つ話題をそれぞれの研究者の立場から話をさせていただきます。

記

日時：12月2日（水）13時から15時30分

場所：筑波大学・大学会館国際会議室

総合課題「福島原発事故後の放射性物質汚染による現状と問題点」

1. 「福島第一原子力発電所事故後の河川ネットワークを通じた水・土砂流出に伴う放射性セシウム移行」

筑波大学アイソトープ環境動態研究センター 恩田裕一

2. 「原発事故からの放射性セシウムの物理・化学性状」

気象庁気象研究所環境・応用気象研究部第四研究室 五十嵐康人

3. 「農産物への放射性物質の移行と食の安全」

東京大学大学院農学生命科学研究科 田野井慶太郎

4. 「原子力災害後の健康影響」

福島県立医科大学 大津留晶

このシンポジウムは、学会参加登録者以外の方においては、予め参加申し込み（http://2015tsukuba.jrsm.jp/form_test.html）をしていただくことで誰でも聞くことができます。

日本放射線安全管理学会第14回学術大会大会長 末木啓介